

第16回日本山岳耐久レース(ハセツネ2008)レポート

棚澤 信

開催日：2008年10月12日(日)、13日(月)

応募開始まもなく締め切られ、参加が最大の関門だった今年のハセツネ。そのせいか、スタート前に知人に誰にも会わない状況だった。4.5リットルを積んだザックは重いと感じた。天気には恵まれ、快適な気候だった。スタートまで2分近くかかり、スタートと後すぐから渋滞が始まる。列に並んで温存の第1関門まで。去年より時期が早いせいか、第1関門でライトを準備(4:30:01)。例年通り、第1関門を通過すると、周りに人が少なくなってマイペースで走れるようになる。快調にペースをあげるが、西原峠あたりから急にペースダウン。辛くてかなり弱気になって予定外で休んだが、三頭山の頂上はすぐとのこと。気分も回復して山頂をクリア。下りは渋滞になっておらず、適度に抜いていける間隔で人に追いつく。第2関門22時(8:59:30)、タイムも回復して、去年とほぼ同じである。水は1リットル弱余っていた。補給、給水ともほぼ予定通りである。抜かれ傾向で歩きは遅いが、覚悟があったせいか御前山はそれほど苦しまなかった。大ダワまでの下りも渋滞は無く、抜き続けで快調。時々上りはあるが、ほとんど落下するように走り続ける。大岳山の上りも手堅く上る。補給はポケットに入れたピーナッツチョコ。頂上で2度目の電池交換、ついでに少し休憩。後は下り中心と、なるべく歩きの誘惑に打ち勝って御岳山へ。第3関門は去年より少しゲイン(12:47:42)。それなりにがんばれば、目標の15時間は達成できる時間だ。足は大丈夫だが、走り続けると苦しい。平地でも徒歩が混ざってしまい、歩いている人にも抜かれて瞬く間に離される。ラストスパートの気合も入らず、ゴールは14時間57分1秒。昨年の自己新記録を9分半更新。順位は男子576位、去年より100位分遅い。ゴールして座ると動きたくなくなる。片付けも駅までの徒歩も意外と大丈夫。始発で帰宅。

補給：ゼリー等 600、固形 600、チョコ等 600、ドリンク等 300、全 2100kcal

給水：6リットル

体重変動：-3.5kg